

10 「性的マイノリティについて考えよう」（性的マイノリティの人権）

実践する場面

- (1) 対象者 行政職員、小・中・高校生の子どもがいる保護者、地域住民等
- (2) 所要時間 80分

活動のねらい（ポイント）

- (1) 性の多様性について知るとともに、性的マイノリティの人権課題について理解を深める。
- (2) 自分の周りにも当事者がいるかもしれないという認識のもと、互いの違いを認め合いながら、他者と共生していこうとする意識を高める。

準備するもの

ワークシート1～2、資料1～3（トイレマークのイラスト、レインボーフラッグ）

進め方（展開例）

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	備考（資料）
導入 15分	<p>◆学習の確認（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会のねらい ・日程 ・参加体験型学習における約束 <p>◆アイスブレイキング（10分）</p> <p>「このトイレ、だれのため？」</p> <p>①トイレマークA、Bについて、それぞれのマークを見て感じたことを話し合う。</p> <p>②トイレマークCそれぞれが、どのような人を表すか考え、「どなた」「みんな」の意味を考える。</p> <p>③レインボーフラッグの意味を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【参加体験型学習の約束】の内容を伝える。 →P9 ・4人程度のグループで行う。 ・資料1のトイレマークを配付、もしくは拡大して提示するとよい。 ・レインボーフラッグについて確認し、活動のねらい(1)を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 →P70
<ul style="list-style-type: none"> ・色や服装、性別による固定観念があることや、社会を構成する人々の多様性に気づく。 ・レインボーフラッグについて知るとともに、本活動のねらい(1)を確認する。 			
展開 55分	<p>◆アクティビティ1（20分）</p> <p>「性的マイノリティ」について知ろう</p> <p>①セクシュアリティの4要素をもとに性の多様性について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート1を配付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート1 →P68
<ul style="list-style-type: none"> ・その人自身の「性のありよう」を「セクシュアリティ」と言い、人格を形成するうえで不可欠な要素であることを知る。 ・セクシュアリティの4要素 <ul style="list-style-type: none"> 「心の性：自分自身で認識している性のこと」 「身体の性：生まれもった身体の性のこと」 「好きになる性：恋愛や性愛の対象となる性のこと」 「表現する性：服装や性格、趣味や振る舞い方などで表される性のこと」 ・4つの要素は、「男性」と「女性」の二つに分けて考えられがちであるが、実際には「男性」と「女性」の二つに明確に分けることができないものであることを知る。 			

<p>②性的マイノリティのカテゴリーを表す言葉について確認する。</p> <p>③民間の調査によると性的マイノリティは約11人に1人（1クラスに3～4人）の割合でいるといわれており、自分の周りにも当事者がいるかもしれないということに気づく。</p> <p>④性的マイノリティの人はどのようなことで困るのかを考える。</p>	<p>・個人で考えたあと、グループや全体で共有する。</p>	
<p>【予想される反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレや更衣室、風呂を利用する際に困惑する。（身体の性と心の性の不一致） ・既成概念にもとづいた服装や髪形をしなければならない。（表現する性） ・社会には差別や偏見があり、日常生活で直面することがある。 ・職場や学校の人に知られたときに、差別されるのではないかという不安がある。 ・「彼女（彼氏）はいるの？／結婚しているの？」など、既成概念にもとづいて会話が進んでしまう。 ・恋愛や結婚へのハードルが高くなる。（伝えられない、伝えたときの反応） ・誰に相談すればよいかわからない。 ・カミングアウトした際に、受け入れてもらえるのか拒絶されるのかわからず不安になる。 ・常に不安を抱え、本来の自分を偽らなければいけない。 		
	<p>・参加者が困りごとを考えることが難しい場合は、ファシリテーターから「日常生活では？」「職場では？」など、場面などを示唆するとよい。</p>	
<p>・「男性」と「女性」という二つの分け方を中心とした社会のあり方や何気ない会話により、性的マイノリティの人が傷ついたり、自分らしく生きられず苦しんだりしていることを知る。</p>		
<p>⑤④の意見交換をとおして、性的マイノリティの人が直面している課題について知る。</p> <p>◆アクティビティ2（35分） 「LGBTQアライをめざそう」</p> <p>①「アライ」について知る。</p> <p>②「カミングアウト」と「アウティング」について確認する。</p>	<p>・資料2を配付する。</p> <p>・資料をもとに「沈黙の螺旋」と「アライの行動」について説明する。</p> <p>・資料3を配付する。</p> <p>・資料をもとに「カミングアウト」と「アウティング」について確認する。</p>	<p>・資料2 →P71</p> <p>・資料3 →P72</p>

	<p>③ワークシート2の活動3を読み、Aさん役とBさん役を決めて、ロールプレイに取り組む。 Aさん役はBさん役にかける言葉を考える。</p> <p>④③をとおして考えたこと、気づいたことを共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート2を配付する。 2～4人で取り組み、全員がAさん役、Bさん役をできるようにする。 その後の共有が深まるように観察する人がいてもよい。 課題では、正解を求めることよりも、当事者の気持ちに寄り添いながら考えることを大切にす。 必要に応じて、補足資料を配付して、言葉かけの例を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート2 →P69 補足資料 →P73
<p>・自分がカミングアウトされたらどのように反応したらよいのか戸惑うことが想定されるが、ロールプレイをとおして当事者の気持ちに寄り添って考えてみることで、何らかの心構えができ、「アライ」に近づくことができる。</p>			
	<p>⑤「LGBTQアライ」として、「今からできること」を考えて書き、グループで共有する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ワークシート2 →P69
<p>・まず、自分の周囲にも性的マイノリティの人がいるかもしれないという認識をもつということが大切である。</p> <p>・「アライ」の行動により、性的マイノリティの人を気づかないうちに傷つけることを減らすとともに、当事者が過ごしやすい環境づくりを進めることができる。</p>			
<p>まとめ 10分</p>	<p>◆まとめ（10分）</p> <p>①学習を振り返って考えたことや感じたことを共有する。</p> <p>②まとめの話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動のねらい（ポイント）を押さえる。 	
<p>・参加者の感想等を取り上げながら、自分の周りにも当事者がいるかもしれないという認識をもち、互いの違いを積極的に認め合いながら、共生していこうとする意識の大切さに気づく。</p>			

<参考資料など>

「性的マイノリティについて理解する」（平成27年1月）

「性的マイノリティについて理解する～あなたが相談されたらどうしますか？」（令和元年11月）

神奈川県教育委員会教育局行政部行政課人権教育グループ

※いずれも、県教育委員会ホームページよりダウンロード可能

「LGBTQ ALLY(アライ)として行動するには？」

リクルート主催Be a Diverセミナー資料 Allies Connect代表 東 由紀（令和元年12月）

性的マイノリティについて考えよう

1 「性的マイノリティ」について知ろう

(1) セクシュアリティを便宜上、4つの要素に分けて考えてみましょう。

①	の性	自分自身で認識している性のこと
②	の性	生まれもった身体の性のこと
③	性	恋愛や性愛の対象となる性のこと
④	性	服装や性格、趣味や振る舞い方などで表される性のこと

(2) 性的マイノリティのカテゴリーを表すときに使う言葉

L	レズビアン	女性同性愛者。女性で女性を愛する人
G	ゲイ	男性同性愛者。男性で男性を愛する人
B	バイセクシュアル	両性愛者。愛する人が同性の場合も異性の場合もある人
T	トランスジェンダー	身体の性と心の性が一致していないため、身体の性に違和感をもったり、心の性と一致する性別で生きたいと望んだりしている人
Q	クエスチョニング	自分の心の性がよくわからなかったり、どの性別が好きなのか迷ったりしている人

(3) LGBTQの人の割合は、約 人に 人といわれている。

2 性的マイノリティの人はどのようなことで困るのでしょうか。

3 AさんはBさんからカミングアウトされました。Aさんはどうしたらよいでしょう。

AさんとBさんは同じ部署の同僚。この部署に、数か月前に新しくC部長が異動してきました。C部長が来てから、社員同士のコミュニケーションが活発になり、それまであまりなかった懇親会や、家族も参加できる週末のイベントが開催されるようになりました。

そのような中、Aさんは、Bさんから、パートナーが同性であること、懇親会などで交際相手のことや結婚しないのかと聞かれて居心地が悪いことや、家族やパートナーを連れてのイベント参加について悩んでいることを打ち明けられました。

Aさんは、Bさんはどうしたらよいのか、また、自分には何ができるのか考えて、Bさんに言葉をかけましょう。

Aさん：C部長が来てから、懇親会とかイベントが増えたね。コミュニケーションが増えて仕事でも話しやすくなったかな。

Bさん：そうだね。

Aさん：家族ぐるみで参加するの、ちょっと悩むこともあるけどね。

Bさん：うん。

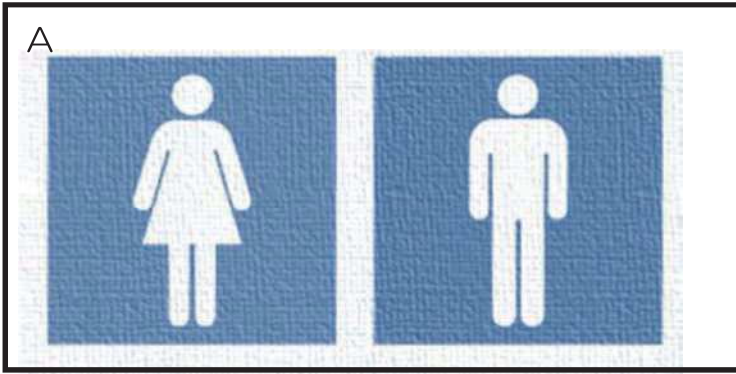
Aさん：Bさん、どうかした？

Bさん：うん……。実は、私のパートナーは同性なんだ。だから、懇親会などで、交際相手のことを聞かれたり、結婚のことを聞かれたりして、なんかね、居心地悪くて……。それに、ほとんどの人が家族やパートナーを連れてくるでしょう。なんか、参加すること自体が気が重くて……。Aさん、私はどうしたらよいと思う？

Aさん：

ロールプレイをして考えたこと・気づいたこと

4 LGBTQアライとして、今からできることを考えて書きましょう。



神奈川県みんなのトイレマーク

【レインボーフラッグ】



レインボーフラッグはLGBTの尊厳や社会運動の象徴である。
「性」は多様なものであり、一つひとつははっきり分けられるものではないことを、虹のグラデーションを模して表している。

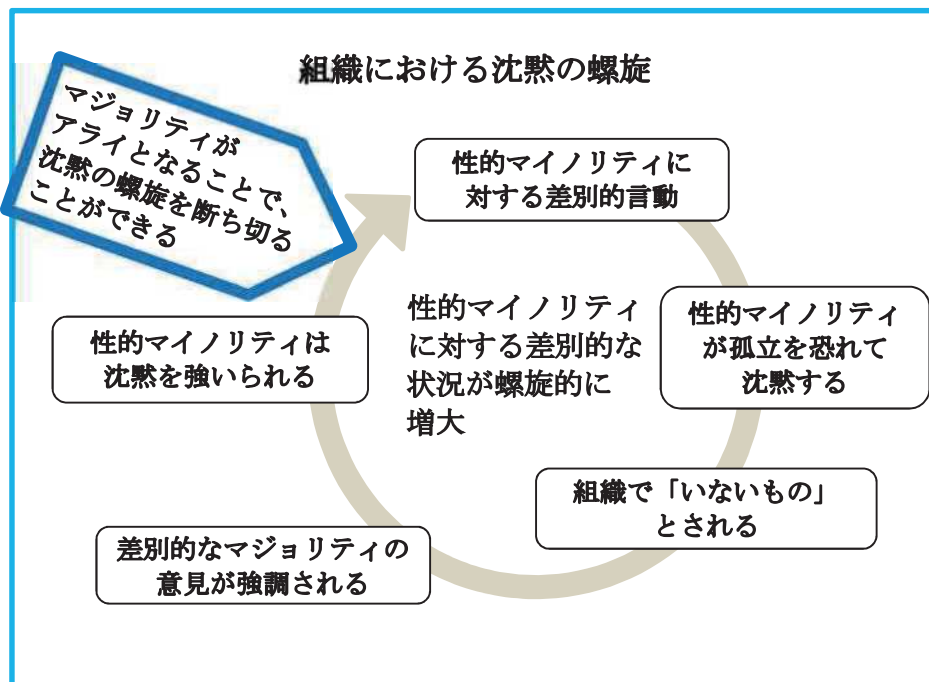


「LGBTQアライ」とは

「LGBTQアライ」とは、性的マイノリティのことを理解し、支援しようと行動する人のことです。（アライ (ally) の語源は、同盟・支援者を表す英語です。）

世論はマジョリティがつくっており、性的マイノリティに対する差別的な言動があっても、孤立を恐れるマイノリティは沈黙を強いられてしまいます。それを放置すると、性的マイノリティは、組織内で「いないもの」とされ、性的マイノリティに対する差別的な状況は螺旋的に増大してしまいます。

そこで、マジョリティの人がアライとなって差別を是正するために行動することで、性的マイノリティにとってポジティブな環境をつくっていくことができます。



アライの行動

- アライであることを周囲に知ってもらう。
- 性的マイノリティについての正しい知識をもつ。
- 自分の周囲に当事者がいるかもしれないという意識をもつ。
- 性的マイノリティへの誤解やからかうような言動を指摘する。
- 性別を特定しない言葉を使う。
（例：彼・彼女→パートナー・付き合っている人、
旦那様・奥様→家族の方・お連れの方、君・ちゃん→さん）
- 男らしさや女らしさなど世間的にいう男性・女性の役割を押し付けるのではなく、「その方、個人」として接するという姿勢をもつ。
- 周りの人に性的マイノリティについてのポジティブな話をする。 など

例：表明する。
6色の虹グッズを持つ。



アライが行動することで・・・

- 誤った認識や、誤解をまねく発言などの差別を客観的に正すことができる。
- 職場等でカミングアウトしていない当事者のニーズや課題を代弁できる。
- 性的マイノリティが働きやすい（生活しやすい）制度や理解を促進する施策等を取り入れることができる。
- 性的マイノリティの勤労意欲等を高めることができる。

アライの言動には力があることに気づき、行動する必要がある

「カミングアウト」と「アウティング」について

「カミングアウト」とは、秘密にしていた自分の性的指向や性自認について、他の人に告白することです。

「カミングアウトすることで、これまでの人間関係が壊れてしまったら……。でも、自分のことを知ってほしい、理解してほしい、助けてほしい……。」

このような思いの中で、大きな勇気を出し、そして、相手を信頼して行うのがカミングアウトです。

カミングアウトという行為を選択した当事者の思いを想像してみると、カミングアウトをされた際に何を伝えたらよいかが見えてくるかもしれません。

「アウティング」とは、本人の了解を得ずに公にしていけない性自認や性的指向等の秘密を話してしまうことです。

「相手を信頼して話したのに……。みんなには知られたくなかった……。人間関係が壊れてしまう……。みんなの前から消えてしまいたい……。」

アウティングはプライバシーを侵害する行為であり、アウティングされた被害者が生命を失う可能性もあります。相談や対策のためであっても性的マイノリティの人々を厳しい状況に立たせる危険性があります。

カミングアウトされたときは、傾聴、共感、受容の姿勢が大切です。

さらに、次のことも大切にしてください。

- ☆信頼して打ち明けてくれたことにお礼の気持ちを伝える。
- ☆困っていることやしてほしいことを丁寧に聞き、一緒に考えていこうとする。
- ☆既にカミングアウトした人がいるかを確認するとともに、誰かに伝えてよいのか悪いのか確認する。
- ☆カミングアウトされた時に感じた疑問や気持ちを素直に伝える。
- ☆他の人へのカミングアウトの強要やアウティングは決してしない。
- ☆自分だけで受け止められないような場合には、周囲の人には決して言わず、匿名で相談することのできる公的な相談機関等で話を聞いてもらうとよい。

カミングアウトされたときに、NGな発言や行為

アウティングは、絶対にしてはいけません。また、以下の発言や行為もNGです。

- ✖ セクシュアリティを決めつける。

〔「あなたの思い過ごしだ」
「きっとトランスジェンダーだね」等〕

- ✖ 他の人へのカミングアウトを強制する。
- ✖ 不安をあおるようなことを言う。

カミングアウトされた際の言葉がけの例

話してくれてありがとう。
正直なところ驚いているけれど、話してくれてうれしいよ。
ずっと一人で抱えて苦しい思いをしていたんだね。
私に何かできることはある？一緒に考えていけたらいいな。
それから、念のために確認させて。このことを誰か他の人にも伝えた？

打ち明けてくれてありがとう。
……。
一緒に考えていこう。

(言葉にならなくても、一緒に考えていきたいという姿勢は伝える。)

話してくれてありがとう。
つらい思いをしたんだね。
Bさんは、このことを秘密にしたい？それとも、他の人にも知ってほしい？
→秘密にしたい：それなら誰にも言わないから安心して。
→知ってほしい：じゃあ、どう伝えるかを一緒に考えよう。
イベントには無理して参加してなくても良いと思うよ。
よければ、Bさんが安心できる仲間で今度集まろうよ。

そうだったんだね。
打ち明けてくれてありがとう。
私はBさんのパートナーに会ってみたいと思うな。
でも、そのことでBさんとパートナーの方がつらい思いをするのは嫌だから、無理しないでね。
私に何かできることがあるかな？私はこれからBさんと一緒に考えていきたいな。
(「私(アイ)は~と思うよ」というように、私を主語にして自分の感情を言い表す「アイメッセージ」で伝える。)
それから、大切なことだから確認させてほしいのだけど、他の人にもこのことを話したことはある？

※ カミングアウトされた際の言葉がけについては、自分とその人との関係、その人の置かれている状況など、考慮しなければならない要素は、たくさんあり、正解があるわけではありません。
まずは、その人のことを尊重することが大切です。